

みえ福祉第三者評価結果

① 第三者評価機関名

株式会社中部評価センター

② 施設・事業所情報

名称：四日市市立磯津保育園	種別：保育所
代表者氏名：濱 啓子	定員（利用人数）：50名（30名）
所在地：三重県四日市市大字塩浜3050-2	
TEL：059-346-1001	ホームページ：
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：昭和46年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：四日市市	
職員数	常勤職員：9名 非常勤職員：15名
専門職員	（保育士）10名 （保育補助）9名
	（事務員）1名 （用務員）1名
	（調理員）3名
施設・設備 の概要	（居室数）4室 （設備等）給食調理室 1
	事務室 1・遊戯室 1

② 理念・基本方針

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・生活や遊びなどの豊かな経験を通して、友だちとふれあい、子ども一人ひとりの人権を尊重しあえる保育。・子どもの最善の利益を考慮し、子どもの福祉を増進する保育。 |
|---|

④ 施設・事業所の特徴的な取組

子ども同士がかかわる機会を広げ、多様な経験が得られるよう、異年齢での保育を取り入れている。また、民生委員による見守りをはじめ、企業見学や地域の高齢者との触れ合いなど、地域との連携も活発に行っている。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和7年8月26日（契約日）～ 令和8年3月13日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（ 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

◆小さな園のメリット

在籍する子どもの数が30名の小さな園であり、地域の少子高齢化の波の影響を強く受けている。規模の小さなことをデメリットとして捉えることなく、それをメリットとして園運営を進めている。昨年度までは4、5歳児が対象であった異年齢の縦割り保育を、今年度から3～5歳児に拡大した。年上の子どもが下の子どもを思いやり、年下の子どもが上の子どもにあこがれ、慕う兄弟のような関係が、一層幅広く展開されることとなった。意思疎通の面においても、職員間だけでなく、保護者とのコミュニケーションを密に図ることが可能であり、双方の意見等が共有されている。保護者アンケートの「理念・方針の保護者周知」の項目は、回答した保護者全員が肯定している。

◆地域で見守る子どもの育ち

コロナ禍によって中断した地域との交流・連携が徐々に再開されつつある。園長が「地域子育てネット0-6会議」や「青少年育成会議」等の会議・会合に参加し、地域共通の課題について話し合っている。防犯パトロールには、職員や保護者の参加がある。民生委員児童委員の協力も見逃せない。園行事の手伝いをはじめ、子どもたちの外出時（散歩等）には付き添って見守りを行っている。園と地域との間に入り、様々な調整を行っている。園と地域が一体（チーム塩浜）となって、子どもの育ちを支えている。

◆保護者との距離の近さ

こどもの数、それに伴う保護者数が多くはないため、保護者がどの職員とも顔馴染みであり、相談や意見等が気軽に発信できる雰囲気となっている。保護者が声を発しやすいことで、保護者からの安心感、子どもの安定感につながっている。今後も、保護者の声に耳を傾ける姿勢を継続し、保護者が安心して子どもを預けられる保育園でいてほしい。

◇改善を求められる点

◆園独自の中・長期計画の策定

市が策定した「第4次学校教育ビジョン」や「就学前教育・保育カリキュラム」があるが、園独自の中・長期計画を持っていない。園運営は、地域の少子高齢化の進行という大きな流れの中にある。市の計画には想定されていない「縦割り保育」や「地域共生」等を盛り込み、園の特徴を示した中・長期計画を策定されたい。

◆記録、マニュアル類の整備

職員数が少ないため、口頭でのやり取りで連絡が取れたり問題が解決したりしてしまう。そのため、職員は記録に残すことの必要性を感じていない。また、分からないことや疑問点があっても、マニュアルを確認することなく、先輩職員に聞けば事足りてしまう。市の作成したマニュアル類が何年も見直されず、現状に合っていない部分が散見された。内容はおろか、マニュアル自体の存在を知らない職員がいることも大きな懸念材料である。必要な記録を残すこと、またマニュアルの整備とその周知は喫緊の課題となる。

◆「保育マニュアル」の活用

「保育マニュアル」は、職員として必要な事項を含めた内容ではあるが、手順や規定等の記載が少なく、標準的な実施方法として十分なものとは言えない。誰が見ても同じ意識で保育に向き合えるための「保育マニュアル」になるよう、内容の精査が望まれる。正規職員のみならず、非正規のパート職員も使用できる「保育マニュアル」となることを期待する。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

異年齢保育、地域、保護者連携など園が大切にしている取り組みを評価していただき、保育を進めていくうえで大きな励みになりました。今後もこども一人ひとりの思いを大切に受けとめ、地域や保護者とのつながりを大切にし、保育の充実に努めていきたいと考えています。今回ご指摘いただいた「園独自の中・長期計画の策定」「記録、マニュアル類の整備」「マニュアルの活用」については、園として重要な課題と受けとめています。園の特色である異年齢保育、地域との連携を踏まえた中、長期計画の作成をすすめるともに、研修記録や保護者対応等の必要な記録について様式の整理を行い、確実に記録を残す体制づくりを進めていきます。またマニュアルについても園内研修等を通して職員への周知を図り、共通理解のもとで活用できるよう整備を進め、保育の質の向上につなげていきたいと考えています。

こども、保護者、職員、地域にとって安心できる場となり、互いに支え合いながら信頼される保育園となるよう、引き続き努めていきます。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。